

# びび通信

ワークセンターびび広報紙

## 第16号

2010.1.22

発行  
南丹市社会福祉協議会 美山支所  
ワークセンターびび  
〒601-0751 南丹市美山町島往古瀬8番地  
TEL.0771-75-1660 FAX.0771-75-0829

美山福祉のつどい 2009  
主催:美山福祉のつどい2009実行委員会

## 美山福祉のつどい 2009

平成21年12月5日(土)、障害者が主役となり障害の理解を広める啓発活動として、美山福祉のつどい2009が初めて開催されました。

ワークセンターびびも実行委員の一員として計画段階から関わり、当日はコーヒーの販売、作品の展示、さをり織り体験、ステージで太鼓の発表やファッションショーなど、存分に活動の成果を発表することができました。練習よりも力強く太鼓がたたけたり、普段はすっぴんの女性が化粧をしてモデルをしたり、自分の将来の夢をしっかりと発表したり、いつもとは違ういきいきとした利用者の表情を見る事ができ、大成功だったと感じています。

この取り組みを通して少しでも何かを感じてもらえれば幸いです。

今回は3月に日吉で行われる“ふれあい福祉まつり”で太鼓の発表をします。

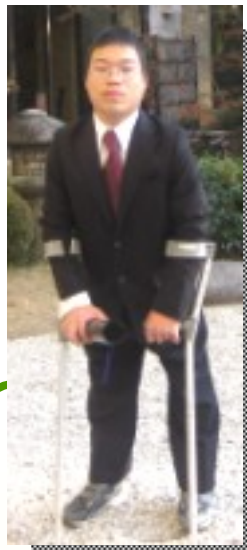




# 優秀賞

## 平成21年度「障害者週間」啓発ポスター及び体験作文コンクール 体験作文の部

京都府主催の“「障害者週間」啓発ポスター及び体験作文コンクール体験作文の部”で、日吉分所に通所されている堀祐輔さんが、昨年の佳作受賞に続き今年には優秀賞を受賞されました。その作文をここに紹介いたします。



### 助けあう心を大切に

ワークセンターびび 日吉分所  
堀 祐輔

私は、生まれつき両足に障がいがありクラッチ（杖）を使用しなければ歩けません。

しかし、小学校の時は養護学校に通ったけれど、中学、高校は周囲の支援もあり自分の希望していた普通高校に通う事ができました。けれど養護学校ではなかったつらい事が沢山ありました。それは、障がいのある人との接し方がわからないのかすごく冷たい目で見られたり、障がいがあるのをわかっていてムリな事をやってみるみたいに言ってくる人が何人かいました。

私は、いつも思います。もし、自分が身体に障がいがありそんなイヤな事を言われたらどう思うのか自分の立場で考えてみたらと。

でも中には、すごく理解のある人達もいてくれたので良かったです。

先日、新聞やニュースで私と同じような障がいのある奈良県の女子中学生が、小学校は車イスにのついても周囲の助けがあつて普通小学校に通えたのに、中学校は支援する人がいない、移動などが大変だから入学できない事を耳にしました。最終的に通えるようになったみたいで良かったけれど、法律的には、障がいがあるから普通中学、高校に通ってはダメというのはないのでと障がい者にどう対応するか前向きに考え入学できるようにするべきだと思います。

障がいがあつてもなくても生きている限り同じ人間なので、一緒に学校に入学できるというのは当たり前だと私は思います。

また、学校に障がい者が一人でもいると健常者は、障がいに対しての理解ができると思います。今までは、障がい者を見て変な人がおらはるかと思つていた人もたぶん日常生活の中で障がい者と接しているのと街に出歩いた時に、障がい者の見方が変わると私は思います。

もちろん障がいをもっている私たちも健常者の人たちに障がいがあるからできないんだと思わせるのではなく、身体にハンデがあるからこそ健常者にはできない事が沢山あるんだという事を教えてあげべきだと思います。

そうすると、お互い理解しあえると思うのです。

私は、これからの時代は、もつともつと福祉というものに対して学習すべきだと思います。障がい者と健常者とは、同じ生活しているのも物の見方が違うと思います。例えば街の中を歩いていて、二センチの段差があります。普通の人なら何も思わずに歩いているだろう。しかし、障がい者はその少しの段差がハードルとなるのです。

他にもいっぱいあります。だから私は、どれだけ街のバリアフリー化を健常者の人たちだけで

考えるのではなくて障がい者の声をもつと受け入れ一緒に考えていくべきだと思います。

私は、今までいっぱい両親や先生、友達から支援してもらつてあげがとうという思いです。でもハンデがあるからといって支援してもらつてばかりではいけないと思う。やっぱり生きていく以上は同じ人間だから。

私の夢は何年先になるかわからないけれど福祉の仕事で今まで支援してもらつた分反対に支援できればなと思つています。

もう一つ福祉の仕事っていうのは健常者が先頭に立つてやるより私の考えでは、障がいがある本人が先頭に立つた方が今よりずっとよくなると思います。私はそんな人になりたいなと夢見ています。

私の伝えたかった事は、たとえハンデがあつても生きていく以上同じ人間だから差別するのではなく健常者と同じように接したら良いという事、それがもし、難しいのであればどうしたらいいのかが前向きに考え同じ生活ができるようにすれば良いという事と私たちハンデがある方もどうすれば日常生活に解け込む事ができるか努力する事も必要だという事を常に思つておくのが大切だと思います。お互い助けあいの心を大切に生活しましょう。



平成21年度

# 秋の企画事業



利用者企画事業・・・ワークセンターびびでは、自己選択・自己決定する力を育てることを目的に、利用者による企画委員会を設け、年に3回お出かけやイベントなどを計画・実施しています。

## 美山

11月18日(水)に“ドキドキ・ワクワク!! 感謝会”と銘打ってお楽しみ会

が開催されました。企画から準備、当日の進行まで企画委員さんが中心となり、まさに手作りのイベント。参加者全員が楽しめるとても素晴らしい会でした。

企画委員の一人である下東清野さんの感想をご紹介します。



### 秋の企画

### 下東清野

今回は新型インフルエンザのため外出はやめて、施設内でのイベントとなり企画委員で、すべてを考えて決めて行く事になりました。

まず一番に考えた事は、みなさんが楽しい一日が過ごせる内容にしたいとの思いから始めました。色々な意見が出ました。それもいいなあー、あれもいいなあーと言いながら又数日経ち、結局みんなで考えた結果お鍋とイベントをする事になりました。

お鍋、ポスター、舞台の飾り付け、買い物、すべてのことを皆さんに協力して貰わなければ出来ませんでした。大変だという事はよく分かっていましたが、あえて鍋にしたかった理由が私なりにありました。家族でお鍋を食べられない人がおられるのでは無いでしょうか。その人達のために(私も食べたかった)美味しく食べておられる笑顔が見たかったです。どのテーブルを見ましてもワイワイガヤガヤと楽しい会話も聞こえてきました。お寿司も美味しかったですね!!

午後のイベントはポスター通りにドキドキワクワクに合った事を考え、マジックショー、ジャンケンゲーム、景品付きにはドキドキわくわくされた様でした。カラオケ、ティータイムはケーキ、コーヒーの時はジャンケンゲームの景品を開けてまたまたワイワイガヤガヤと楽しい時間でしたね。最後はみんなで合唱。一つの輪となって大きな声で歌って下さっていた事に感動しました。

今回は本当に自分達で準備から司会進行まで色々な事が時間通りに進めていく事が出来、ほっとしました。感謝します。企画委員さん本当に頑張りました。大成功でしたね。尾藤さんが言われていましたが、次回も頑張ってみなさんに喜んで貰える企画を考えたいものです。

みなさんで作り上げた企画。ありがとうございました。



## 日吉

“お好み焼き・グランドゴルフ・温泉” H21/11/27

今年はインフルエンザ打撃で遠くに出かけるのをやめ、“日吉で秋を感じよう”という企画になりました。

お好み焼きは、野菜を切る人、粉を混ぜる人、焼く人、それぞれの担当を頑張っておいしーいお好み焼きができました。形はまんまるじゃなくても、お腹はまんぷくになりましたよ。そしてグランドゴルフ。グランドや道具の準備も自分たちで頼みに行きました。はじめての人は知っている人に教えてもらいながらコースを回りました。最後に念願の温泉に入って心も体もぼかぼかになった1日でした。



# ニューフェイス紹介

日吉

## 菅原 幸三 さん

「わたしは37年8月20日生まれで星座はしし座。性格は人がよいことかな。趣味は車とバイクが大好きでくわしいこと。好きな芸能人は“ELTのもっちー”です。よろしくお願いします。」



美山

## 小林 昌弘 さん

11月から通所されています。日吉町から自家用車で来られている小林さんの趣味はドライブと音楽鑑賞。ちなみによく聞く歌手は浜崎あゆみさんだそうです。



日吉

## 寺尾 俊廣 さん

1月から通所されています。だんだん作業にも慣れてきて、みんなと楽しそうに話をされています。

美山

## ひろむ さん

11月から通所されています。毎朝、みんなのお茶を湧かしてくださいます。とても働き者の60代男性の方です。

## このころ野(ん)ん

### 施設長雑感

竹内 晶

2010年、新しい年を迎え早くも1ヶ月が過ぎようとしています。今年の冬は暖冬かと思いきや寒い冬となりました。「雪がないから寒いんだ」という人もいます。ワークセンターびびをはじめ障害を抱えながらこの地域で一生懸命暮らしている皆さんにとって、雪の少ないことは朗報になっているのでしょうか。

先日の報道で、障害者自立支援法の廃止が現実のものとなると伝えていました。私は正直に言って、障害者自立支援法に基本的に賛成してききましたので少し驚きです。もちろんサービス利用に対する応益負担の問題や、障害程度区分の認定、施設への報酬単価など課題は多くありすべて賛成とはいいませんが、基本理念において3障害を1元的に支援することや就労支援を具体化、強化したこと、自己選択自己決定を明確にしていることなど、評価すべき点は数多くあると思っています。この法律に對して、障害者の生きる権利を掲げて憲法違反だと真正面から戦っ

てこられた中に、竹下弁護士がおります。ひよんなことで少し知り合いとなった竹下弁護士に、この問題についてお話を伺い教えていただきましたと思っています。

ともあれ23年度には「障害者総合支援法」(仮称)が策定されるようです。期待をしたいものです。これからの障害者福祉のキーワードはノーマライゼーションや自立支援という生活支援に加え、主観的満足(たとえば幸福感や満足感など)も課題となると思います。障害者福祉は、人生そのものを扱うので奥が深いですね。

さて、先日『びび』で恒例の餅つき大会をしました。美山・日吉合同の餅つきでしたが京北のしゃくなげ共同作業所も参加していた。だき地域の皆さんと70名を越える大勢で楽しく行うことができました。もち米は、社協にいただいた現物寄付のもち米です。とてもおいしかったです。ありがとうございました。